

議長	副議長	事務局長	次長	係長	係員
(舟公見)	(大田)	(吉田)	(次長)	(総務室)	(松口) (吉田) (玉置) (佐野)

平成31年2月18日

三沢市議会

議長 船見 亮悦 殿

広報委員会

委員長	春日洋子	(印)
副委員長	瀬崎雅弘	(印)
委員	下山光義	(印)
〃	遠藤泰子	(印)
〃	澤口正義	(印)
〃	加澤明	(印)
随行	高橋涼平	(印)
	(事務局主査)	(印)
〃	浪岡光平	(印)
	(事務局主事)	(印)

旅行の復命について

先に旅行した結果について、次のとおり復命いたします。

記

- 目的 広報委員会行政視察
- 期間 平成31月2月5日(火)～7日(木)
- 視察先 兵庫県姫路市  
大阪府高槻市
- 概要 別紙のとおり

## 視察概要－1【兵庫県姫路市】

1 日 時：平成31年2月6日（水） 9時00分～10時30分

2 場 所：姫路市議会棟 会議室

3 対応者：姫路市議会事務局 議会広報誌担当 樋口 氏

4 観察項目：議会だよりの編集・企画について

5 観察概要：下記のとおり

### （1） 観察にあたっての挨拶

姫路市議会議長 今里朱美氏  
三沢市議会広報委員長 春日洋子

### （2） 姫路市の概要

姫路市は、近畿地方西部、兵庫県の南西部に位置し、兵庫県内第2位の商工業と人口を擁する中核都市である。

世界遺産の姫路城、書写山圓教寺や三大荒神輿の一つである灘のけんか祭りなどの播州の秋祭りが有名であります。

また、市域を東西に貫通する形で山陽新幹線・山陽本線・国道2号が通り、姫路駅は姫路城の真南1kmに位置し、市街地は姫路城の城下町が原型となっており、近年は姫路駅南側への発展も見られているとのことです。

### （3） 観察項目について

#### ○議会だよりの編集・企画について

姫路市では、「議会報ひめじ」と題した議会広報誌を昭和45年5月1日より発行しており、現在の発行回数は年に4回で、定例会終了日から約1ヶ月後に自治会組織を通じて各戸配布しているとのことであり、姫路市においての自治会

加入率は90%を超えていたため、ほぼ全世帯に広報誌が行き渡ることになりました。

また、姫路市には議員による広報委員会のような広報作成組織はなく、主に事務局が主担当となり、広報誌を作成しているとのことありました。

掲載内容・項目の主な内容としては、表紙写真は話題になった事項に関連した写真や季節感あふれるイベントや風景、行事の写真等を、見出しについては、定例会で一番話題性の高かった事項を大見出しとし、下部には定例会の概要、目次、議会に関する問い合わせ先を掲載しているとのことでした。

一般質問の掲載にあたっては、通告締切日翌日に課内会議を開き、どの議員のどの質問を掲載するかを決めるとのことでした。

また、誰が、どのような質問をしたかわからないように、質問内容の部分に議員の名前を入れないような紙面にしていることで、理由としては、個々の議員からの発信ではなく、議会全体としての広報に努めるという考え方に基づいてそのような紙面としているとのことありました。

質問した議員名については別枠を設け、質問議員名、会派及び主な質疑・質問内容を一括掲載しているとのことでした。

加えて、現在は議員個人の賛否一覧を掲載していないとのことがあります、掲載するかどうかということを、今まさに検討している最中とのことであり、今後掲載される可能性はあるとのことありました。

議会報発行までの間に行われる会議は、前述の質問掲載を決定する課内会議のみであり、編集会議や企画会議等は一切開催しておらず、第1回定例会開会1週間前に開催される議会運営委員会により次年度の編集方針を事務局より報告し、承認を得ているとのことで、質問者一覧に記載する主な質疑・質問内容を通告に合わせて提出してもらう以外には議員の関与はないとのことでした。

また、その他の議会広報として、点字様式の議会報や、音声版である声の議会

報なども作成し、希望者に郵送しているとのことありました。

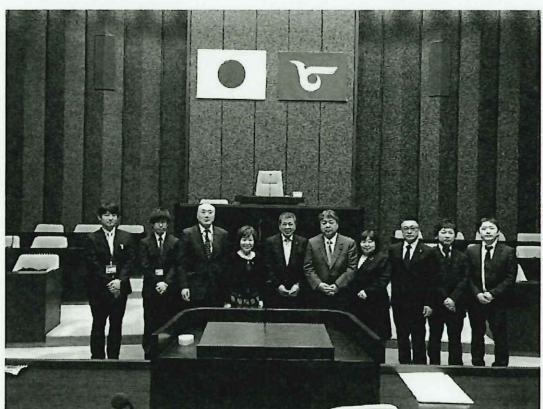
さらに、新聞掲載業務を委託契約し、一般質問内容の新聞掲載、加えて、市広報課予算を使い、テレビやラジオでの定例会日程案内等を実施し、議会広報に注力しているとのことありました。

#### (4) 所感

姫路市では、議員が広報に関わっておらず、事務局が作成しているとのことでありましたが、作成にあたっている担当職員から議会報作成に対する熱量を感じられました。

また、議員間でも今後、広報誌作成への関わりを増やしていくかなくてはならないとの思いもあるようで、広報誌作成に関する組織の立ち上げを検討しているとのことありました。

姫路市の議会だよりは、ページ数が定例会毎に決まっていることや、一般質問の部分で、敢えて個々の議員が特定されるような掲載方法を取っていない等、当市市議会だよりとはまた違った紙面づくりに努めており、大変参考になりました。



## 視察概要－2【大阪府高槻市】

1 日 時：平成31年2月6日（水） 14時00分～15時30分

2 場 所：高槻市役所3階 会議室

3 対応者：高槻市議会事務局主幹 籠野 氏  
高槻市議会事務局主査 天川 氏

4 観察項目：議会だよりの編集・企画について

5 観察概要：下記のとおり

### （1） 観察にあたっての挨拶

高槻市議会副議長 笹内和志氏

三沢市議会広報委員長 春日洋子

### （2） 高槻市の概要

高槻市は大阪府の北東部に位置し、政令指定都市である大阪市と京都市とのちょうど中間地点に位置し二大都市のベッドタウンとして発展しています。

市域は東西に狭く、南北に広くなっています。北端を北摂連山・南端を淀川で区切られ、地勢は北高南低になっています。

市街化率は北摂7市の中で最も低く、山林や農地が多く残されており主な市街化調整区域は、保安林や近郊緑地保全地域に指定され、市域の48%を占める北部の山林、南部の三箇牧地域、五領地区、櫻田地区は農用地区域としても農地が保全されていることです。

### (3) 観察項目について

#### ○議会だよりの編集・企画について

高槻市では、議員9名で構成される「議会だより編集委員会」と事務局4名での編集体制を取っているとのことでした。

議会だより編集委員会の主な役割としては掲載事項の決定、表紙写真の選定、議案質疑・一般質問の選定、裏表紙の雑記帳の執筆となっており、事務局側の役割は表紙写真を含めた全ての写真撮影、記事の作成（定例会の概要、議案質疑、議決結果・表決結果、一般質問、議会日誌、議会の日程、行政視察の概要、特集記事）を事務局議事調査チーム内担当4名（原稿確認【管理職】1名、原稿作成3名）で分担しているとのことでした。

高槻市独自の工夫としては、一般質問の記事掲載を5件に絞り込み掲載しているとのことで、選考方法は議会だより編集委員会において、各委員が掲載を希望する質問を5件選び、希望の多い順に掲載記事を5件選定しており、公平性を担保するために議員の氏名を公表しないこととしているとのことでした。

また、高槻市議会だよりは中核市議会議長会第12回議会報コンクールで審査員特別賞を受賞しており、評価のポイントは表紙に使用した保育所の写真が軟らかく市政課題を取り上げていること、一気に読める議会報に仕上がっていること、また、見出しのあしらいやピクトグラムの活用等が挙げられたようありました。

さらに珍しい取り組みとして、聴覚障害者の識字率が低くなりがちであることから、手話の議会だよりを聴覚障害者協会へ委託して作成し、貸し出しを行つてのこととありました。

#### (4) 所感

高槻市議会だよりは、レイアウトやデザインを業者へ委託するだけでなく、独自の工夫として、一般質問掲載を5件に絞るなど非常に読みやすさを重視した仕上がりとなっているように感じました。

また、視察報告をあえて掲載せずに視察先だけを概要として掲載し、委員会活動についても掲載しない等ページの縮減も図っており、定例会概要、代表質問、議案質疑、一般質問といった定例会に関連する事項のみの議会だよりとなっていましたこと等、今後当市の議会だよりの方向性に関して非常に参考となる事例がありました。

